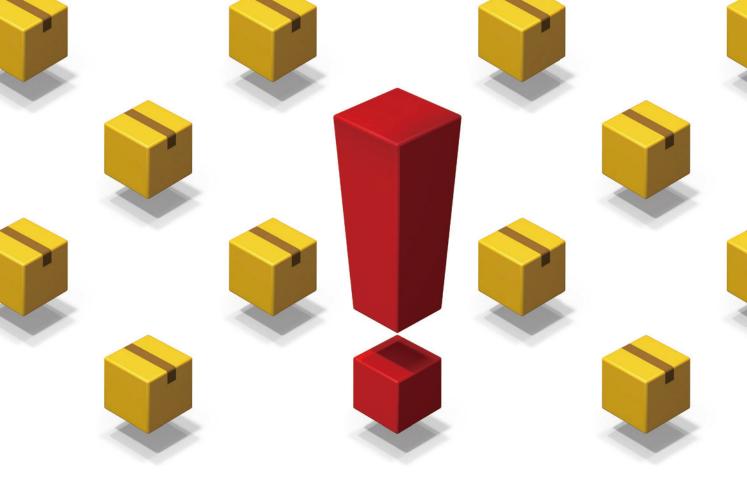
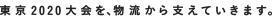
公益財団法人　日本ハンドボール協会 編
平成29年12月1日発行（毎月1回1日発行）　通巻574号

ハンドボール

12
DEC.2017
No.574

●第72回国民体育大会
●第21回日韓スポーツ交流

公益財団法人　日本ハンドボール協会

世界が驚く、物流をつくろう。

東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナー

代表取締役　青木 理恵

販売から賃貸管理までトータルサポート

私たち株式会社ユリカコーポレーションは、お客様方へ不動産を用いたライフプランをご提案しております。
自社ブランドである『YURIKA ROSE』(ユリカ ロゼ)シリーズも順調に分譲中です！
2020年の東京オリンピックに向け、ハンドボール選手と共にこれからも邁進していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

私達、株式会社ユリカコーポレーションは女子ハンドボールを応援しています!!

http://yurika-co.jp/

株式会社ユリカコーポレーション

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6-2 神田セントラルプラザ1202

TEL：03-3525-8986 / FAX：03-5295-8188

ハンドボール 12月号 No.574

【表紙の写真】第 72 回国民体育大会少年男子優勝の神奈川県（写真提供：スポーツイベント社）

CONTENTS

がんばれハンドボール 20 万人会「サポート会員」10 月入会・継続会員

【宮城】福田　伸【埼玉】齋藤忠男、齋藤ゆかり、小澤隆志、小澤智子【東京】東尾吉信、寺嶋　潔、荒川晶夫、荒川留美【神奈川】種村明彦【静岡】細澤　覚【愛知】城山秀美、中島　猛、山田美佐子【三重】橋本行弘、橋本由紀子【大阪】伊藤慎吾、中塚冨佐子、泉　邦周【広島】塩屋正子、田中友紀

次号 1 月号（No. 575）は 1 月 1 日発行予定です。

2018年1月18日から開催の
第18回男子アジア選手権(2019年・第25回男子世界選手権予選を兼ねる)
に出場の全日本男子チームへの応援メッセージを募集

【12月8日一部訂正】

募集期間は、**12月８日(金)～1８日(月)**までです。
戴いたメッセージは、1月号機関誌でＨＰ上に掲載予定です。

氏名・男女・匿名希望か否か・メッセージ(100文字まで)を記載し

送付先アドレス：kikanshi@japan-handball.jp
機関誌;応援メッセージ募集係御中

迄、送付下さい。

応募戴いた方の中から抽選で若干名の方に、サイン入りＴシャツを贈呈します。

平成29年度　理事および役員が決定

平成29年10月28日新理事によって理事会が開催されました。役員が互選によって選出され、理事の職務分掌が決まりました。

役職	氏名	よみがな	職務分掌	常勤／非常勤	生年	新重
会　長	湧永　寛仁	わくなが　かんじ	全般	非常勤	1973	新任
副会長	福地　和彦	ふくち　かずひこ	全般	非常勤	1954	新任
副会長	吉田　實	よしだ　みのる	全般	非常勤	1952	新任
専務理事	田口　隆	たぐち　たかし	兼　強化	常勤	1961	重任
常務理事	工藤　雄三	くどう　ゆうぞう	総務、全日本社会人連盟	非常勤	1961	重任
常務理事	米原　暢男	よねはら　のぶお	マーケティング、広報	非常勤	1952	新任
常務理事	三輪　一義	みわ　かずよし	普及指導	非常勤	1965	重任
常務理事	高野　修	たかの　おさむ	競技	非常勤	1963	新任
常務理事	西窪　勝広	にしくぼ　かつひろ	2019女子世界選手権	非常勤	1954	重任
常務理事	村林　裕	むらばやし　ゆたか	日本リーグ	非常勤	1953	重任
常務理事	大橋　則一	おおはし　のりかず	事業	非常勤	1967	重任
常務理事	栗山　雅倫	くりやま　まさみち	特命、国際	非常勤	1971	重任
理　事	福島　亮一	ふくしま　りょういち	競技、審判	非常勤	1971	新任
理　事	Nemes Roland Janos	ねめしゅ　ろーらんど　やのしゅ	国際	非常勤	1975	新任
理　事	稲福　貴史	いなふく　たかふみ	2020東京オリパラプロジェクト	非常勤	1987	新任
理　事	河上　千秋	かわかみ　ちあき	女性委員会	常勤	1963	新任
理　事	松井　幸嗣	まつい　こうじ	全日本学生連盟	非常勤	1957	重任
理　事	北中　弘規	きたなか　ひろき	全国高体連専門部	非常勤	1961	新任
理　事	小越　康雄	こごし　やすお	北海道ブロック	非常勤	1952	重任
理　事	岡市　武	おかいち　たけし	東北ブロック	非常勤	1958	新任
理　事	中野　利一	なかの　としかず	関東ブロック、20万人会	非常勤	1950	重任
理　事	行田　潤	ぎょうだ　じゅん	北信越ブロック	非常勤	1958	重任
理　事	丸山　竜司	まるやま　りゅうじ	東海ブロック	非常勤	1964	重任
理　事	佐路　清隆	さじ　きよたか	近畿ブロック	非常勤	1961	新任
理　事	山本　一	やまもと　はじめ	中国ブロック	非常勤	1948	重任
理　事	佐藤　公美	さとう　きみよし	四国ブロック	非常勤	1954	重任
理　事	児玉　浩三郎	こだま　こうざぶろう	九州ブロック	非常勤	1966	新任
監　事	江成　元伸	えなり　もとのぶ		非常勤	1950	新任
監　事	東海林　祐子	とうかいりん　ゆうこ		非常勤	1968	新任
監　事	松本　隆栄	まつもと　たかえ		非常勤	1954	新任

第72回国民体育大会

開催期間　2017年10月5日～10月9日
開 催 地　愛媛県・西条市、松山市

最終順位

種別	優勝	第２位	第３位	第４位
成年男子	埼玉県	愛知県	宮城県	佐賀県
成年女子	石川県	熊本県	広島県	鹿児島県
少年男子	神奈川県	千葉県	福井県	香川県
少年女子	愛知県	沖縄県	富山県	岩手県

大会を振り返って

愛媛県ハンドボール協会理事長　**東福 康浩**

「君は風　いしづちを駆け　瀬戸に舞え」のスローガンのもと、第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」は、９月30日に総合開会式を行いその幕が上がりました。愛媛県で国体が開催されますのは、昭和28年に四国４県で共同開催されて以来実に64年ぶりということで、非常に感慨深いものとなりました。

ハンドボール競技会は10月４日に開始式および諸会議を行い、翌10月５日から５日間、松山市の松山市総合コミュニティーセンター体育館、北条スポーツセンター体育館、西条市の西条市総合体育館、ビバ・スポルティアSAIJOの４会場５コートで開催され、無事に大会を終了しましたことをまずはご報告いたします。

会場が４つに分散されたことで、多くの大会役員の皆様、とくに審判、TDの皆様には移動等においてご迷惑をおかけしました。この場をお借りしまして改めてお詫びいたします。その上、大会会場の一つであり10月４日の諸会議および開始式も行われた松山市総合コミュニティーセンターは、10月３日までなぎなた競技の会場となっておりました。そのため、なぎなた競技終了直後からハンドボール競技の準備を始めなくてはなりませんでした。また、西条市のビバ・スポルティアSAIJOは人工芝の屋内運動場ですが、この大会のために仮設の床を敷き、その上にスポーツコートを敷き詰めました。昨年リハーサル大会（第21回ジャパンオープントーナメント）を実施していたとはいえ、果たして大丈夫だろうか、という不安も抱いていました。しかしながら、どちらの会場におきましても松山・西条両市の実行委員会および競技役員、補助員の皆様のご努力により、競技が予定通りに実施できました。このことに心から感謝いたします。

５日間にわたる熱戦の結果、少年男子は春の高校選抜およびインターハイを制した法政大学第二高校を母体とする神奈川県が優勝し、昨年の山口県岩国工業高校に続き全国大会３冠の偉業を達成されました。少年女子もやはり選抜、インターハイを制した佼成学園女子高校を母体とする東京都に注目が集まりましたが、その東京都を破った沖縄県と愛知県との決勝戦となり、愛知県が優勝しました。成年男子決勝は大崎電機の埼玉県対トヨタ車体の愛知県という昨年と同じ顔合わせとなりましたが、今年は埼玉県が雪辱を果たし優勝しました。成年女子決勝も昨年と同じ顔合わせとなりましたが、北國銀行の石川県がオムロンの熊本県を破り大会５連覇を達成しました。優勝されました各チームに心から敬意を表しますと同時に、惜しくも優勝は逃したものの、連日手に汗握る白熱した試合を繰り広げてくださったすべてのチームに感謝を申し上げます。

本県勢は、成年男女ともにJHLを母体とするチームに敗れたものの、地元の大応援を背に最後まであきらめることなく健闘しました。また少年男子は２点差で、少年女子は１点差で惜しくも初戦敗退しましたが、最後の最後まで勝敗の行方の分からない緊迫した試合を展開しました。こうした好試合の連続は、会場に足を運んでくださった多くの観客にハンドボールの魅力を余すところなく伝えたのではないかと存じます。本大会の盛り上がりが、今後の本県のハンドボール競技の更なる普及・発展につながることを切に願う次第であります。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりご尽力を賜りました公益財団法人日本ハンドボール協会、四国ハンドボール協会、松山・西条両市の実行委員会並びに市職員、ボランティアスタッフ、競技役員、競技補助員の皆様に改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。そして、来年開催されます第73回国民体育大会「2018福井しあわせ元気国体」の成功を祈念申し上げ、結びといたします。

成年男子優勝　埼玉県

大崎電気ハンドボール部監督　岩本 真典

　この度、第 72 回国民体育大会「愛顔つなぐ愛媛国体」成年男子の部において、私たち大崎電気は埼玉県代表として２年振り 22 回目の優勝を果たすことが出来ました。これも一重に日頃から大崎電気ハンドボール部を支えてくださっている渡邊オーナーをはじめ社員の皆様、そして埼玉県体育協会、埼玉県ハンドボール協会関係者の方々のご支援、ご声援あってこその結果だと思っております。また大会開催にあたりご尽力いただいた愛媛県ハンドボール協会をはじめ日本ハンドボール協会、地元愛媛県西条市のボランティアの皆様、成年男子会場の西条市実行委員会、ならびに関係各位の皆様に改めて、心より厚く御礼申し上げます。そして何より、昨年の岩手国体で５連覇の目標が敗れた悔しさをバネに日々のトレーニングを行ってきた選手の努力の賜物だと思っています。

　国民体育大会は 12 名の大会及びベンチ登録のみ。（国体以外は 16 名ベンチ登録）大会が始まれば怪我をしても選手の入れ替えが出来ないという苦しい中、決勝戦までの４試合、試合に出場している選手は勿論、登録を外れた選手もチームの為に最善を尽くし、21 名の選手が役割を果たしてくれたことに感謝しております。

　選手には日頃から For THE TEAM ！ THINKING HANDBALL ！というチームスローガンの基、指導しております。今大会のスローガン「君は風　いしづちを駆け　瀬戸に舞え」にもあるように、チーム全員が目標に向かって愛媛を駆け抜ける風のように優勝に舞い輝くことができました。

　今大会は埼玉県代表としての優勝でしたが、大崎電気としては今シーズン、スケジュール的にチームトレーニングが少ない中での結果であり、次のタイトルに向けこの優勝をスタートに継続して優勝できるよう、これまで以上の努力を重ねてこれからも大会ごとに成長し、国内で継続して勝てるチーム、そして世界に通用するチームを目指して日々、精進していきます。

　今後ともご支援、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

成年女子優勝 石川県

北國銀行ハンドボール部主将　塩田 沙代

はじめに第 72 回国民体育大会開催にあたり、愛媛県国民体育大会実行委員会及び日本ハンドボール協会、和歌山県ハンドボール協会の関係者各位の皆様方に心より感謝申し上げます。

今大会において、5 年連続 10 回目の優勝をすることができました。これもひとえに日頃よりご支援・ご声援をいただいております石川県ハンドボール協会ならびにサポーターの皆様方、家族の皆様方、そしてチーム強化に強力なバックアップをしていただいております、安宅頭取をはじめとします、役員・行員の皆様方のおかげだと思っております。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

試合では、私たちの持ち味である DF から速攻でリズムを掴んで試合を展開していけるよう話し合い、今大会にのぞみました。初戦、2 戦目は、コートに立ったメンバーがお互いに声を掛け合いながら自分たちらしく戦い、準決勝まで勝ち進むことができました。準決勝では、序盤は自分たちらしく DF から速攻で得点を重ねリードを広げることができましたが、中盤以降、自分たちのミスから失点する場面や、逆に相手に勢いを与えて失点する場面が多くなり、試合には勝つことができましたが、課題が多く残る試合となりました。

準決勝での反省を踏まえて、コートに立った選手がしっかり個々の役割を果たそうと約束してのぞんだ決勝戦では、出だしから DF でリズムをつかみ、速攻で全員が走り、また OF では 1 人 1 人が積極的にシュートを狙い、得点を重ねて 60 分間戦うことができました。そして、33 対 16 で勝利することができました。

今大会を通して、まだまだ試合の中で好不調の波があったり、個々の弱さがあったりと課題もたくさんあります。この結果に満足することなく、このあと続く、日本選手権、日本リーグに向けて気を引き締めて戦っていきたいと思います。そして､応援して下さる皆様に恩返しができるように頑張りたいと思います。北國銀行をはじめ、協会、サポーターの皆様にはこれまでと変わらぬご支援・ご声援を宜しくお願い致します。

少年男子優勝 神奈川県

神奈川県少年男子監督　阿部 直人

このたび、愛媛県で開催されました第 72 回国民体育大会愛顔つなぐえひめ国体において、11 年ぶり４度目の優勝を果たし、この優勝をもって法政二高は春夏に続き「三冠」を達成することができました。

振り返ってみると「三冠」を達成することができた要因は様々あります。選手が三年前に法政二高に進学を決意してくれたこと、三年間の努力、保護者の理解・協力、OB・OB 保護者の支え、学校の支援・理解、スタッフのサポート。これらのどれ一つ欠けてもこの結果を得ることができなかったと、そして考えれば考えるほど「ありがたいこと、感謝すること」ばかりでした。

今年のチームづくり、指導においては、「選手の長所を伸ばす」ことを徹底しました。個々の得意なことをとことんまで突き詰め、試合において発揮させる。そのために苦手なことにおいて失敗をしても、手を抜いた結果でないのであれば怒らず、正しい表現で指導する。そして日々、高いモティベーションを持たせ練習・トレーニングに取り組ませました。選手たちは十二分に理解し、そして厳しさと楽しさを融合した理想的な状態で大会に臨むことができました。その状態を継続し、「目の前の一戦に勝つ」ことに集中し、その積み重ねで国体の決勝戦 10 月８日をむかえ勝利することができました。「三冠」を達成することができ、たいへん嬉しく思っていますが、今後もこの結果に満足することなく、さらに成長していくことができるよう努力・挑戦していく所存であります。

最後になりましたが、日本ハンドボール協会、愛媛県ハンドボール協会、また大会の準備、運営等に携わっていただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

写真提供：スポーツイベント社

少年女子優勝 愛知県

愛知県少年女子監督　浅野 清隆

　はじめに、第 72 回愛顔つなぐえひめ国体の開催にあたり、ご尽力賜りました日本ハンドボール協会並びに愛媛県ハンドボール協会、運営に携わって下さいました全ての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

　この度、第 72 回国民体育大会において、3 年ぶりの優勝をすることができました。これも偏に日頃からご支援・ご協力いただいております愛知県ハンドボール協会並びに高校関係者の皆様、小中学校の頃に選手たちを熱心に指導して下さった指導者の皆様、多大なご協力と応援をして下さった保護者の皆様等、本当にたくさんの皆様のおかげであります。

　さて、今大会は名経大市邨高校から 7 名・大同大大同高校から 4 名・愛知商業高校から 1 名のメンバーで臨みました。名経大市邨高校は選抜大会では茨城県の水海道第二高校に延長戦で敗れ、リベンジを誓って臨んだインターハイも準々決勝で山口県の高水高校に敗れていたので、今度こそ日本一をという強い気持ちを持って準備をしました。

　初戦となる 2 回戦の宮城県に勝ち、次はインターハイで負けている高水高校を中心とする山口県でした。愛知県の選手の中には中学時代、全中・JOC でまた小学校時代も全小で山口県に負けていた者もいたので、私の中ではこの試合が一番の山だと考えていました。試合の方は特に力を入れたディフェンスが機能し失点を抑え 22 対 17 で勝つことができました。準決勝は富山県でしたが、思っていた以上に速攻が速かったこと、前日に一番の山と言ってきた試合に勝ち心に隙があったこともあり、立ち上がり 6 点のビハインドから始まりました。タイムアウトを取り、とにかく焦らずに自分たちのやるべきことをやろうと確認しました。その後は落ち着きを取り戻し前半のうちに 1 点差まで追い上げることができました。後半もシーソーゲームでどちらが勝ってもおかしくないゲームでしたが、同点で迎えた残り 15 秒でタイムアウトを取り、やることを確認し残り 3 秒で伊藤がシュートを決め勝つことができました。決勝は沖縄県で想定通りダブルマンツーを仕掛けてきました。後半 2 点差に迫られることはありましたが、焦らず常にリードする展開で試合を進め、勝利することができました。

　今回は少年女子優勝に加え、天皇杯・皇后杯も獲得することができ、全国で一番のチーム数である王国愛知を示すことができ、とても嬉しく思います。また、自分以外のスタッフの 3 人は皆 20 代で若いメンバーでしたが、相手の分析、GK のコーチング、連夜のモチベーションビデオ作成、ウォーミングアップやケア等それぞれが役割以上のことをして頑張ってくれ、そのことが大きく優勝に貢献したと思います。そのスタッフも含め、多大な応援をして下さった保護者、一丸となって努力を重ねた選手に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

写真提供：スポーツイベント社

戦　評

成年男子　3位決定戦　宮城県　29(16−13、13−14)27　佐賀県

1分宮城山田のミドルシュートがネットを揺らす。3分にもその山田がロングシュートを決め、2点をリードする。しかし、佐賀も4分津山のミドルシュートが決まると、直後提のカットインですぐさま同点に追いつく。5分を過ぎた辺りから宮城がじわじわと主導権を握り始める。宮城は相手の変則ディフェンスにも動じることなく、桑名のサイドシュートを中心に得点を重ね、15分の時点で10対5とリードする。佐賀は流れを変えようとチームタイムアウトを取るも、宮城の力強いオフェンスを止めることができない。しかし、前半終了間際、佐賀もリズムに乗り始め、一時は7点あった点差を3点まで詰め、前半を16対13宮城リードで折り返す。

後半は宮城吉田のサイドシュート、速攻、桑名の速攻で3連取し、再び佐賀との差を広げる。佐賀も果敢にゴールに迫るが、宮城GK関口が立ちはだかり得点を許さない。その間も宮城は攻撃の手を緩めることなく10点差をつけ、16分佐賀がたまらずチームタイムアウトを取る。するとここで流れが変わり始める。佐賀は荒川のミドルシュート、中本のカットインなどで一気に4点差まで縮める。28分宮城に2分間退場者がでると、佐賀は一気に畳み掛ける。しかし反撃もむなしく、試合終了。29対27で宮城が3位に輝いた。

成年男子　決　勝　埼玉県　34(11−12、23−12)24　愛知県

開始早々愛知が素早いパスワークから藤本のサイドシュートで先制点を挙げ、さらに津山、木切倉、藤本の得点で一挙4点を奪う。対する埼玉はミドルシュートを軸に、柴山、小澤、信太が得点を決め追いすがるも、愛知が順調に得点を重ね、埼玉が4点差を追いかける試合展開となる。試合が動いたのは前半18分、埼玉信太の2連取を皮切りに、宮崎、小澤がシュートを決め同点とし、柴山のサイドシュートで逆転に成功する。しかし終盤に愛知吉野が3連取し再度逆転、12対11愛知リードで前半を折り返した。

後半は追いつきたい埼玉のスローオフで始まった。開始早々埼玉信太がカットインを決め同点とする。後半5分からお互いの攻撃がつながり、激しい展開となるも、徐々に埼玉の得点チャンスが増え、植垣の華麗なスカイシュートを含めた4連取で5点差に突き放す。反撃を狙う愛知はチームタイムアウト後、展開の速い攻めで得点を奪うも、埼玉の安定した攻めの前に得点を許し、差を詰めることができない。終盤愛知が攻めのディフェンスを見せるも、埼玉が信太の本日10点目の得点を含む、オフェンスで大きく差を広げ、34対24で埼玉が2年ぶりの国体優勝を遂げた。

成年女子　3位決定戦　広島県　30(13−13、17−14)27　鹿児島県

鹿児島のスローオフで、3位決定戦が始まった。1分39秒、鹿児島は、広島堀川の退場でチャンスを掴み、得点する。一方、広島は、アグレッシブなディフェンスから、スピーディーなゲームメイクで得点する。12分、広島は、眞継の速攻が決まり、7対7の同点とする。このタイミングで鹿児島は、チームタイムアウトを取る。その後、両チームとも、多彩なゲームメイクで、互角のゲーム展開を繰り返す。20分過ぎ、鹿児島は、川村のミドルシュートで、広島を引き離しにかかるが、広島も、石川のサイドシュートで食らいついた。前半を、13対13と同点で終了した。

後半に入り、追加点が欲しい両チームは、チームの特性を生かしたゲームメイクをする。一進一退の状況が、10分過ぎまで続く。11分過ぎ、鹿児島は、堀川の7mTで得点する。広島は、スピーディーなゲームメイクを展開するが、思うように得点が取れない。19分過ぎ、広島は、角屋のポストシュートで、22対22と同点とした。試合時間は、ラスト5分となったが、同点の状況が続く。ラスト3分広島は、角屋のポストシュートで得点する。その後、高山のロングシュートなどで得点を重ね、30対27で、3位に輝いた。

成年女子　決　勝　石川県　33(19−8、14−8)16　熊本県

前半は石川のスローオフで始まった。3分石川横嶋が得点すると、すぐさま熊本も石井がカットインで反撃する。しかし、石川も横嶋のロングシュートを始め、角南の2連続カットインの3連取で熊本を突き放しにかかる。流れを変えたい熊本は7分にチームタイムを取るも、オフェンスでいい流れを作ることができず、逆に失点をしてしまう。それでも10分松尾のカットインで何とか追い上げを試みる。対する石川はBP3人のフェイントが冴え、着実に点を重ねていき15分時点で4点のリードをつける。一進一退の攻防が続くが、キレのあるフェイントでオフェンスのリズムを作り出した石川が14対8の6点リードで前半戦を終えた。

戦　評

後半に入り、石川は角南のカットイン、永田の速攻で更にリードを広げる。熊本も東濱のミドルシュート、勝連の速攻などで応戦するが、なかなか点差が縮まらない。7分熊本がチームタイムアウトを取った時点でスコアは21対12であった。余裕のできた石川は、時間をかけてオフェンスを展開し始める。ここでも勢いは止まることなく大山、横嶋を中心に連携して得点を重ねる。熊本はPVの福井を投入し、巻き返しを図るが、石川の堅いディフェンスを前に本来の力を発揮することができない。後半も石川の猛攻は止まることなく、結果33対16の大量得点差をつけて石川が見事5連覇を果たした。

少年男子　3位決定戦　福井県　29(15−10、14−9)19　香川県

3位決定戦は、福井のスローオフで始まった。立ち上がりにまずリズムをつかんだのは福井。吉田のポストシュートを皮切りに中村翼、治田、中村仁が連続得点を決め、開始5分で4対0とした。対する香川はチャンスは作るものの、ノーマークシュートを福井のGK笹本にことごとくシャットアウトされなかなか得点できない。そうした中でも香川はGK井原を中心に粘り強く試合をつくり、5分46秒にようやく岡田のミドルシュートで1点返すと、その後も奥村と鈴木の連続得点で12分には4対5の1点差に迫った。さらに香川はチャンスを量産し、ここで一気に追いつきたいところだったが、そこにまたもや福井のGK笹本が立ちはだかった。香川の放つノーマークシュートを立て続けにシャットアウトし、連続得点を許さない。逆に福井は中村翼のミドルシュートから治田のサイドシュート、さらには木村、前田も得点を挙げ、着実に試合を支配していく。香川も岡田、小田、鈴木がしぶとくシュートをねじ込むが単発に終わり、結局15対10と福井の5点リードで前半を終了した。

ここまでチャンスは作るもののなかなかリズムに乗れない香川だったが、後半開始のファーストプレイで鈴木が豪快なスカイプレーを決め、大きく流れを引き寄せることに成功する。その後も小田、岡田が立て続けに得点を決め3連取。一気にリズムに乗った。2点差につめられたところで福井はたまらずタイムアウトを要求。再開後落ち着きを取り戻した福井は谷口、前田、中村仁らの連続得点で再び流れを引き戻し、14分には22対16とここまでで最大の6点差とした。香川も川村、谷らが粘って得点するものの福井の守護神笹本の壁が厚く波に乗れない。結局その後も西田、前田らが足を止めず主導権を握り続けた福井が29対19で勝利した。

少年男子　決　勝　神奈川県　38(18−10、20−16)26　千葉県

神奈川のスローオフ、静かな立ち上がり、試合が動き始めたのは1分過ぎの神奈川加藤のシュートから。続いて藤田と2連取。千葉も澤の速攻で反撃。しかし、千葉に退場者が出たことをきっかけに藤田、大畠と立て続けに速攻が決まり、5対1と神奈川がリードを広げる。ここで神奈川に退場者が続き、澤の2得点や中沢の7mTと1点差に迫るが、神奈川はここで怒涛の5連取と千葉を引き離しにかかる。たまらず千葉がタイムアウト、選手らに打開策を授け、千葉松本のポストシュートで反撃開始かと思われた。しかし神奈川西がミドルシュートを決め、神奈川GK高橋も再三の好セーブで千葉の反撃の芽をつんだ。ここで千葉に退場者が続き、22分過ぎに14対6と大きく神奈川がリードした。しかし、ここで千葉髙橋が奮起し気合の3連取、5点差に迫った。ペースは千葉に傾きかけたが、神奈川は内田、藤田、加藤、西が気迫のこもったシュートをねじ込み、前半を18対10と神奈川リードで終えた。

後半開始、千葉のスローオフ、すさまじい勢いで神奈川ゴールに迫るが、それをはねのけ神奈川藤田が2連取。さらに勢いが増す。ここで千葉GK藤田が連続セーブ。神奈川からペースを奪い取る。流れが千葉に傾きかけたが、神

写真提供：スポーツイベント社

戦　評

奈川は出足の鋭いディフェンスで再び流れを呼び込んだ。神奈川西のポストシュートに始まり、加藤の３得点そして白築の速攻と、さらにリードを広げた。千葉は島村や髙橋、原、澤らの巧みな個人技で粘るが及ばず、逆に神奈川の強固なディフェンスから西、加藤らが次々と得点を重ね、38 対 26 で神奈川が優勝を勝ち取った。

少年女子　３位決定戦　富山県　42（23ー9、19ー20）29　岩手県

富山のスローオフで始まり、そのまま坂下のサイドシュートで先取点をあげた。対する岩手も中村や谷藤がシュートを狙うも枠を捉えきれず得点できないが GK 千葉も好セーブ見せ、失点を許さない。5 分間近く点が動かないなか、岩手中村がディフェンスともつれながらも力強いシュートで 1 点目をあげる。その後はお互い点を取り合うが中村のミドルシュートなどで連取する富山に対し、岩手は GK 千葉が速攻を連続で好セーブし、大窪のポストシュートや中村の速攻で得点するも単発に終わってしまう。じりじりと富山が引き離し 7 対 3 と富山リードの前半 11 分、岩手はタイムアウトを取りすぐに中村のミドルシュートで取り返すが、そこから富山の怒涛の攻撃が始まる。長谷川のカットインでの得点から始まり、高木の出足の早い速攻や中村のカットイン、作田の速攻などで 9 連取する。16 対 5 と 11 点差ついた前半 23 分、岩手は GK を下げ CP7 人で攻撃するもミスから富山 GK 金山に、キーパーシュートを決められるなどし点差を広げられ、23 対 9 と富山リードで前半を折り返した。

後半開始後もなかなか点差は縮まらない。岩手は新沼のサイドシュートや吉田のカットインで追い上げるが富山も小畠のポストシュートや長谷川のパスカットからの速攻などで追撃を許さない。後半 14 分から、岩手は谷藤と中村のカットイン、吉田の華麗なステップシュートや新沼のサイドシュートで 4 連取するが、富山も西田の速攻などでさらに加点する。その後も岩手は谷藤のミドルシュートや大窪のポストシュート、中村のミドルシュートなどで奮起したが、高岡大仏を想像させるような富山の堅いディフェンスを最後まで崩しきれなかった。後半、岩手は 20 対 19 と互角の戦いを見せたが前半に開けられた点差が大きく、最後は 42 対 29 で富山が危なげなく逃げ切った。

少年女子　決　勝　愛知県　25（13ー9、12ー11）20　沖縄県

一瞬の静寂、ホイッスルが響く、スローオフ、熱い戦いが始まった。愛知高木のミドルシュートで先制、沖縄新里が打ち返し同点。ここで沖縄 GK 下地、愛知 GK 神谷が相手のシュートを再三はじき出し、4 分に愛知水谷がサイドシュートをねじ込んだだけでこう着状態が続く。試合が動き始めたのは 11 分過ぎ、愛知山田のカットインから。続いて伊藤愛のミドルシュート、江本の速攻で突き放しにかかる。沖縄は新里がミドルシュート、宮里のサイドシュートや儀間のポストシュートで迫るが、愛知上田のミドルシュートが立て続けに決まり 18 分過ぎまで 9 対 6 と愛知がリードする。沖縄は、ディフェンス隊形を変え、愛知に圧力をかける。しかし、愛知はあわてず山田、江本、上田と 3 連取。6 点差にリードを広げる。しかし、沖縄も東江、宮里、屋田の得点で粘り、13 対 9 と愛知リードで前半を終えた。

勝負を決する後半、愛知のスローオフ、愛知江本、上田の連続得点でリードを広げる。しかし、沖縄は上江洲、新里、屋田、再び上江洲と怒涛の 4 連取で 2 点差に迫る。さらに点差を縮めたい沖縄だが、愛知 GK 神谷が好セーブを連発、ここから愛知が 5 連取と沖縄にペースを渡さない。愛知に退場者が出たことをきっかけに沖縄ペースになりかけたが、愛知上田、伊藤愛の強烈なミドルシュートが炸裂。東江のミドルシュートやカットイン、伊波のミドルシュートなどで追いすがる沖縄を、最後は愛知高木のミドルシュートで突き放し、25 対 20 で愛知が沖縄を振り切り、3 年ぶりに栄冠を勝ち取った。

写真提供：スポーツイベント社

第21回日韓スポーツ交流

男子

【派遣】 開催期間　2017年9月11日～9月16日
　　　　 開 催 地　韓国・済州（チェジュ）島
【受入】 開催期間　2017年10月10日～10月16日
　　　　 開 催 地　日本・沖縄県／八重瀬町営東風平体育館・浦添市民体育館

女子

【派遣】 開催期間　2017年9月4日～9月9日
　　　　 開 催 地　韓国・済州（チェジュ）島
【受入】 開催期間　2017年10月18日～10月23日
　　　　 開 催 地　日本・佐賀県／トヨタ紡織九州クレインアリーナ

U16男女団長　尾石 智洋

日本ハンドボール界のジュニア期での育成環境を世界基準に上げるべく、U16の取り組みは変革部の中心となります。今回の大きな変革点は、NTSやNTA（ナショナルトレーニングアカデミー）との連携により、幅広く育成選手の選考を行い、アカデミー生を編成しました。そのアカデミー生により育成合宿を行い、さらに選考しU16日本代表を結成しました。活動中の入れ換えもはかり、土台の拡大及び競争心を高める活動としました。この日韓戦後も育成合宿を行い課題克服のトレーニングを積み重ねて行きます。今後、活動のアナウンス力を高め、日本全国で世界基準の取り組みが共有できるようなシステムが構築できたらと願っています。

また、U16日韓交流事業は、将来のナショナル選手への登竜門として、これまでも毎年積極的に活動を行ってきました。現在、多くのU16経験選手が各カテゴリーにて活躍しています。それは、所属チームの方をはじめ、沢山の関係者やファンの皆様の協力や応援のおかげです。日本全体での高まりを感じております。今年度の親善試合は残念ながら負けてしまいましたが、代表としての誇り高き活動が継続できるよう、強くて愛される選手たちを今後の合宿でも育成していきたいと思います。

さらに、ハンドボールというスポーツを通して、各国の文化を学び合い理解し尊重できるよう人間力を高め、世界平和を願い、一社会人として逞しく成長していくことを願っています。

【男子報告】

2017年9月11日(月)～16日(土)
　男子訪韓　親善試合 25ー27 X
2017年10月11日(水)～16日(月)
　男子受入　親善試合 20ー21 X

U16男子監督　小波津 周史

初めに、9月11日～16日（訪韓）10月11日～16日（受け入れ）の交流事業を行うにあたってご尽力いただいた、日本ハンドボール協会・沖縄県ハンドボール協会・選手所属監督の皆様に感謝申し上げます。

今回も「韓国に勝つ」という目標を掲げ、3回強化合宿を実施し臨んだ日韓交流戦。初めに、韓国チームとの対戦するイメージを学ばせるため、去年のU16男子の日本対韓国戦で日本が勝ったゲーム映像を見る事から始めました。そこで、韓国チームの戦術を確認しました。今年も去年と同じヘッドコーチだと報告があり、チーム戦術も去年と似たチームだと予想し対韓国戦をどう戦っていくかをスタッフで確認し選手に伝えトレーニングに臨みました。日本の戦術としては、DFは去年同様、韓国の得意とする個人技（フェイント）やポストプレーを防ぐために、クロスアタックを取り入れた予測的・機動的・攻撃的6－0。OFは、きっかけから相手DFを広げそのスペースに強い縦の1：1を仕掛けポストの動きを絡め、プレーを継続しノーマークを作る戦術を、短い合宿日数でしたが徹底的にトレーニングし韓国戦（訪韓）に臨みました。

訪韓では25対27と敗退してしまいました。OF・DFとも戦術的には良かったのですが、課題として、DFで韓国の1：1に対しStrong Side（利き手側）を強く守ることが出来ず突破され得点されてしまいました。OFは、韓国のフットワークを行かしたDFを強くスペースを攻めることができ得点を重ねることができました。チームとして次の合宿では、1：1の守り方を確認し強化していくことを課題として帰国しました。

受入では、トレーニングの前に前の試合の映像を見て韓国で課題だったDFの確認をし、主にDFトレーニング（Strong Side（利き手側））を中心にトレーニングを行いました。また、セットOFでの得点を挙

げるためOFのキッカケ→継続までの流れを徹底確認しました。

10月14日の日韓交流日本ラウンドでは、開催地沖縄県浦添市の大応援に背中を押されながら、韓国ラウンドでのリベンジを誓いゲームがスタートしました。結果は、後半ラスト11mからのノータイムフリースローを決められ、20対21で敗れてしまいました。悔しい幕切れとなり、日本選手のほとんどが涙を流しました。選手は、この日韓交流を通して海外を相手に戦える大きな自信を手に入れたと思います。このゲームが、未来の日韓両国のハンドボールをさらに発展させると感じた交流戦でした。

最後に、今回の日韓交流事業を通してU16のカテゴリーは、国際大会はないですが、ナショナル選手に入るための登竜門と考え、「人間力向上」をテーマに掲げ取り組めました。選手一人一人が意識し主体的に行動することが、このカテゴリーで一番大切なことだと考えます。これからも、今回のU16の選手が次のカテゴリーで活躍しオリンピックでも活躍できる選手になることを願い報告を終了させていただきます。

U16男子キャプテン　伊禮 雅太

U16日本代表の活動を終えて、とてもたくさんの事を学べた合宿でした。初めてのアンダーカテゴリーとしての活動で、他国と交流し試合が出来るということで、とてもワクワクしていましたし、その反面緊張もしていました。

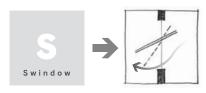
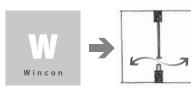
訪韓の時には、27対25で悔しい思いをしました。韓国人のフェイントのキレやフットワークがとても凄く、驚くことが多かったです。そして、国も違えばご飯も違うし、体育館の利用方法も日本とは全く違うので、そのような環境でどのように勝ち抜いていけるかが重要ということがわかり、とても良い勉強になりました。

受け入れの時には、21対20でノータイムフリースローを決められてしまい、とても悔しく応援してくださった人にはとても申し訳ない結果でした。ですが、とても内容の濃い合宿でした。栄養士の先生が来てくださり、僕たちに足りていない栄養を一人ひとりに教えてくれたり、現在、日本代表で活躍している銘苅淳選手に指導してもらったり、日本代表として戦う意味を改めて理解することもできました。また、訪韓時よりもコミュニケーションが取れていて、よりみんなと団結して試合に臨むことが出来たと思います。

U16日本代表に選ばれたことで満足せずに次のカテゴリーでも選出されるように今後も頑張っていきたいと思います。そして、オリンピックで金メダルを取ることを目標にこれから努力していきます。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

日本代表男子 U16 チーム　第 21 回日韓スポーツ交流事業（受入）メンバーリスト

役職	氏名	所属	
強化本部長	田口　隆	公益財団法人日本ハンドボール協会	
指導普及本部長	三輪一義	公益財団法人日本ハンドボール協会	琉球大学
監督	小波津周史	公益財団法人日本ハンドボール協会	浦宗市立浦添中学校
コーチ	大原雅広	公益財団法人日本ハンドボール協会	つくば市立光輝学園手代木中学校
トレーナー	渡辺哲史	公益財団法人日本ハンドボール協会	Up Life 治療院
総務	河上千秋	公益財団法人日本ハンドボール協会	JOC 専任コーチングディレクター

背番号	名前	所属	出身校・出身チーム
1	紅出勘太郎	氷見市立北部中学校	比美乃江ハンドボールクラブ
3	森本大貴	愛知高等学校	名古屋市立滝ノ水中学校
4	三谷光翼	愛知高等学校	名古屋市立滝ノ水中学校
5	谷口　尊	北陸高等学校	福井市立安居中学校
6	豊増明志	浦和学院高等学校	川口市立戸塚西中学校
7	伊禮雅太	興南高等学校	浦添市立神森中学校
9	大川　陸	県立小林秀峰高等学校	都城市立小松原中学校
10	松本大昌	県立岩国工業高等学校	岩国市立岩国中学校
11	後藤駿介	県立藤代紫水高等学校	常総市立水海道西中学校
12	野上遼真	大分高等学校	大分中学校
13	松本統生	県立小松工業高校	小松市立板津中学校
14	木村翔太	大阪体育大学浪商高校	大阪体育大学浪商中学校
15	藤坂尚輝	明倫中学校	北輪電力 Jr. ブルーロケッツ
16	西原雄聖	興南高等学校	浦添市立神森中学校
17	岩本浩希	東大寺学園高等学校	東大寺学園中学校
18	池原大貴	桃山学院高等学校	大阪市立住吉第一中学校

【女子報告】

2017年9月4日(月)～9日(土)
女子訪韓　親善試合 14ー25X
2017年10月18日(水)～23日(月)
女子受入　親善試合 19ー26X

U16 女子監督　麻生　薫

日韓交流は今年で第 21 回目を迎えました。ここ数年日本のジュニア世代の力が大きく向上しており、韓国チームと同等のゲームができるようになっています。特に昨年度、韓国ラウンド引き分け、日本ラウンド勝利という U16 女子では初となる「負けない」日韓交流となり、U16 の活動を実施するにあたり、時間と労力を惜しみなく費やしていただいている方々のお力があってこそだと大変感謝しています。

現在日本は、ジュニア期選手育成において大きな転換期を迎えています。今年度の U16 メンバーは、ブロック NTS、センター NTS、アカデミーを通して招集された選手から選考しており、また NTS で提案された指導内容を日韓交流戦まで一貫して実践してきました。NTS は、A 代表をはじめとする各カテゴリーの反省から「縦の 2 対 2」や「強いコンタクト」、体幹力や姿勢などを含めた「基礎的能力」など、これらを日本の課題であると強調しています。特に「強いコンタクト」については、U16 強化合宿でも継続的に指導をしてきました。

私たちが日本国内でイメージする「強いコンタクト」は韓国には通用しません。まず日本の選手は相手に触ることができません。そしてコンタクトをしても姿勢が崩れ倒れてしまいます。ましてや今回韓国選手の中に 180cm の大型ポストがいました。バックプレーヤーのスピードと大型ポストのパワーを抑えるのは非常に困難でした。韓国ラウンドでは DF 時の接触に対する意識の甘さが敗戦に繋がりました。この課題は、男女問わず日本全体で改善していく必要があると感じています。

日本ラウンド前の強化合宿では、韓国ラウンドでの反省を生かし、NTS から継続的に実践している「BASIC7」や「コンタクト・トレーニング」をさらに強化し、スタッフ・選手を含めチームの意識を変えていく努力をしました。韓国戦を経験した選手たちの意識は一気に高まり、日韓交流戦日本ラウンドでは、トレーニングの成果は大いにあったと感じています。

選手に直接関わってくださっている指導者の皆様のお力はとても大きいです。今後、選手に関わってくださっている指導者の皆さんやハンドボールに関わる全ての方々のお力を集結して、日本の選手が世界レベルに向上していけることをとても期待しています。関係者の皆様、御支援・御協力ありがとうございました。

U16 女子キャプテン　柿添 まどか

日の丸を背負って戦う事、勝つ事の難しさを交流戦だけでなく、合宿中にも学ぶことが沢山ありました。チーム作りからスタートした私達は、行動や言動の一つ一つがバラバラで、韓国代表に勝ちたいという高い意識をもっている選手は少なく感じました。

実際その意識のまま臨んだ試合では、韓国の独特なスピードと強さに日本代表は受け身になってしまい、圧倒されたまま試合が終わってしまいました。試合後、直ぐにミーティングをした私達は「1 ヶ月後、また試合ができるならばもう一度戦い、韓国を倒したい」と、やっと全員の気持ちが同じ方向に向きました。

その後の合宿では、特に DF を徹底して守れるように基本的な 1 対 1 や 2 対 2、4 対 4 を何回も練習しました。また、一人一人が意識を高めお互いに指摘し合えるようになり、チーム全体的に練習の質が上がりました。そのおかげで受入では、訪韓の時より大型ポストを守れるようになったり、韓国に気持ちよくプレーさせないようになりました。試合には全員出場することができ、途中から出た選手も下を向くことなく果敢に戦うことができました。

負けという結果で終わってしまいましたが、訪韓からの一人一人が成長できた交流戦だったと思います。私は相手がいる時だけ戦いではなく、勝つためにどれくらい本気で立ち向かいどれだけ努力したか、そういった自分との戦いが 1 番大事なのだと気づかされました。このような経験ができたのは数えきれないほど多くの方々の応援があってこそだと思います。これからもハンドボールを通して成長していきたいです。U16 は日本代表の第一歩です。まずは自チームに戻って自分の課題と向き合い、世界と戦えるように常にチャレンジし続け、日本のハンドボールを強くしていきたいです。

日本代表女子 U16 チーム　第 21 回日韓スポーツ交流事業（受入）メンバーリスト

役職	氏名	所属	
強化本部長	田口　隆	公益財団法人日本ハンドボール協会	
監督	麻生　薫	公益財団法人日本ハンドボール協会	倉敷市立東中学校
コーチ	藤高　学	公益財団法人日本ハンドボール協会	下松市立下松中学校
GK コーチ	小松理子	公益財団法人日本ハンドボール協会	甲州市立城南中学校
トレーナー	竹内いずみ	公益財団法人日本ハンドボール協会	かもめクリニック
総務	原田　悟	公益財団法人日本ハンドボール協会	

背番号	名前	所属	出身校・出身チーム
1	上嶋亜樹	小松市立高等学校	小松市立芦城中学校
3	小林　愛	小松市立高等学校	小松市立芦城中学校
4	藤原ひなた	花巻市立花巻中学校	花巻クラブジュニア
5	長谷川真子	明光学園高等学校	福岡市立松崎中学校
6	升澤結菜	福井市光陽中学校	福井市立湊小学校
9	高橋　唯	大分高等学校	大分市立滝尾中学校
10	掛本梓乃	山梨県立日川高等学校	甲州市立塩山中学校
11	辻　静羽	石川県立小松商業高等学校	小松市立芦城中学校
12	川村夏希	佼成女子学園高等学校	大阪ジュニアクラブ
13	藤井咲良	小松市立高等学校	小松市立芦城中学校
14	松浦未南	山口県立華陵高等学校	周南市立住吉中学校
15	村上　楓	明光学園高等学校	玉名市立玉名中学校
16	柿添まどか	明光学園高等学校	玉名市立玉名中学校
17	石川　空	大分市立原川中学校	日岡ハンドボールスクールスポーツ少年団
18	小林海由梨	埼玉栄高等学校	川口市立戸塚西中学校
19	竹内琉奈	福井県立福井商業高等学校	福井市明倫中学校

男子受入　日本　20(9-9、11-12)21　韓国

日本・沖縄県浦添市で日韓交流日本ラウンドのゲームが始まる。日本チームは、沖縄の大応援に背中を押されながら、韓国ラウンドでのリベンジを誓う。序盤は互いにミスが重なり、ロースコアの展開になる。日本は松本大が速攻や巧みなフェイントから連続得点を決める。対する韓国も BP のカットイン、ミドルで応戦する。日本のアグレッシブな DF に韓国の OF は戸惑い、ミスが続いた。そこで差を広げたい日本だが、相手 GK にノーマークシュートを何度も阻まれ、点差は広げられず、9 対 9 の同点で前半を終える。

後半は、開始早々に森本の強力なブラインドシュートでリードするが、4 分から韓国 BP の強い個人技による 4 連取で逆転される。しかし日本も三谷、木村のサイドや、藤坂、豊増のカットインで必死に食らいつく。試合中盤から終盤にかけて、体力的に苦しくなってきた韓国は、ペースを落とし、緩急を使ったセット OF に狙いを変え、リードを守る。日本は、勝負所で守護神西原を軸とする DF が機能し、相手のミスから速攻のチャンスを作るが、つなぎのパスミスが目立ち、相手にボールを与えてしまう。ラスト 10 秒でキャプテン伊禮の渾身のミドルで同点とするが、最後に 11m からのノータイムフリースローを決められ 20 対 21 で敗れた。悔しい幕切れとなり、涙を流した日本チームだが、選手達はこの日韓交流を通して海外で戦える大きな自信を手に入れた。この試合が、未来の日韓両国のハンドボールをさらに発展させると信じている。

女子受入　日本　19(6-12、13-14)26　韓国

10 月 21 日佐賀県トヨタ紡織体育館で開催された日韓交流親善試合は、日本チーム長谷川の得点でスタートした。その後、韓国のカットインで応戦されたが、日本の粘る DF で 10 分過ぎまで 5 対 5 のロースコアな展開を見せた。その後、石川、松浦、高橋など果敢な攻撃を見せるが韓国の牽制に苦しみ得点が滞った。DF にも疲れが見え、韓国の大型 PV（180cm）と PV を絡めたバックプレーヤーのカットインやサイドシュートなどの連続得点を許してしまった。

後半では、小柄ながら機動力や展開力のある掛本・村上・藤井をバックプレーヤーに起用し、攻撃の打開を図った。村上・掛本・藤井などの小柄ながらスピード活かした選手の起用で大きく韓国の DF は崩れ始め、得点チャンスにつなげることができた。また DF も大型 PV と早いカットインを攻略することができ始め、高橋や村上の速攻も決まった。19 対 26 で敗戦したもの、選手たちの成長ぶりは大きく次に繋がる交流戦となった。

今回は GK 含め、大型選手、左腕、小柄ながらスピードのある選手と特徴を踏まえて選考したが、やはり大型選手、左腕の育成は重要課題である。GK も含め大型でありながら機動力の習得は必要で、即身につくものではないが、将来性を考慮しコツコツと育成していく必要があると感じた。

第2回

「部活動は道徳教育の場である！」と考える、あなたへ

神谷　拓　宮城教育大学准教授

1．はじめに

今月は、「部活動は道徳教育の場である！」と考える人たちに向けて、お話ししたいと思います。私が接してきた部活動指導者の中には、「学校の部活動は勝敗が目的では無い」と述べる方が多くいました。そこで勝敗以外の目的を聞くと、多くの場合、「道徳教育の場だ」という答えが返ってきます。ここで述べられている「道徳教育」には、心・精神力を高めたり、上下関係や礼儀などを理解させたりすることも含まれています。実際に、朝日新聞と日本高等学校野球連盟が実施した調査[1)]において「監督の一番の悩み」を尋ねたところ、「技術面での指導」が20%、そして「精神・心理面での指導」は約2倍の39%という結果が残されています。この調査からも、技術以上に「心・精神の指導」といった、道徳教育が重視されている実態が理解できます。

それは、当然のことなのかもしれません。なぜなら、これまでの教育制度や教育政策において、部活動における道徳教育を推奨してきた歴史があるからです。以下では、そのことから触れていきましょう。

2．部活動が「道徳教育の場」として成立してきた理由

部活動において道徳教育を進める方針は、まず、進学の際に必要な内申書・調査書に見ることができます。そこでは、学校生活全体にわたって認められる、生徒の行動および性格について評価する仕組みがつくられてきました。学校生活の範疇に課外の部活動を含むのか否かは、各学校の判断によって分かれますが、少なくとも内申書・調査書の原簿となる指導要録では、1961年からそのような評価方法が示されてきたのです。高等学校では1993年の要録で廃止されたものの、中学校では今日まで継承されています[2)]。

実際に学習指導要領においても、道徳教育の場として部活動を位置づける方針が示されてきました。規律ある労働者を求める経済界からの要請もあり、1970年代に道徳教育の場として部活動は注目され、1977～8年改訂の学習指導要領の方針に組み込まれていきます。部活動の大会も同様でした。当時の政権与党の働きかけもあり、道徳教育を進めるために運動部活動の大会が注目され、1979年に新たな基準が設けられていきます。

校内暴力が深刻化した1980年代以降になると、その方針がさらに強調され、子どもの態度から内面や精神を判定・判断するような、部活動の実践が見られるようになりました。そこでは、子どもを従順な態度にするべく、規則や罰則で日頃の行動を管理することが重視されていたため、当時の実践は管理主義的な部活動指導とも言われます。ちなみに、今年に入って改訂された中学校の学習指導要領でも、部活動が「責任感、連帯感の涵養」の場として位置づけられており、依然として部活動における道徳教育が重視されています。

このように教育政策や制度の「お墨付き」を得て、部活動は「道徳教育の場」として機能してきたのです。

3.「部活動は道徳教育の場である！」の限界

しかし、この立場の主張には限界があります。まず、道徳教育は、部活動固有の教育（内容）ではありません。人は、様々な場面で、心・精神が磨かれます。大学浪人時代の経験に求める人もいるでしょうし、日々の授業の予習・復習を全力で取り組む過程において、心・精神が鍛えられることもあるでしょう。あるいは、同じスポーツに取り組む地域スポーツクラブでも、責任感や連帯感を育むことはできそうです。このように考えると、道徳教育は部活動の専売特許にはなりえず、同時に、学校で部活動を実施する根拠や、教員が関わる理由にもなりません。

さらに言えば、道徳教育や「心・精神力を高める」といった方針は、体罰・暴力を正当化する理由・言い訳として使われてきた問題もあります。例えば、一人の尊い命が奪われた、桜宮高校・バスケットボール部の事件においても、その傾向が見られました。この事件を起こした顧問は、後に顛末書の中で「鼓舞させる場面や、意欲、集中力がない場面で手をあげる事があった」と述べ、暴力をふるった理由として心・精神を持ち出しています[3)]。皆さんの身近においても、同様のことが起こっています。高校のハンドボール部の監督が、大会の成績が２位だったことを受けて、賞状を破り捨てたと報道されています。顧問は、この行為に及んだ理由を「気合いを入れるためだった…」と述べています[4)]。ここでも、賞状を破り捨てるという理不尽な行為を正当化する理由として、「気合い」という心・精神が利用されているのです。

4．道徳教育と自治集団活動の接点

子どもが望むような行動や態度を取らなかったときに、心・精神、道徳を理由にして、体罰・暴力・暴言などの理不尽な指導を行い、従順な行動や態度を取らせていくという方法は、戦前の軍国主義教育から見られるものです。そのような深い「根」を理解し、「部活動は道徳教育の場である」という主張の限界を知り、これから、どのようにして教育との接点を見出していくのかを考えるのが「運動部活動の教育学」です。前回においても触れたように、学校の教員は、子どもを課題に向かわせ、解決させる専門家ですから、今回も「自治」という観点と、道徳教育の関係を考えていきましょう。どのように人格が形成されるのかには諸説がありますが、その中には、自治集団活動を基盤にした、「働きかけるものが働きかけられる」と考える人格形成論があります[5)]。例えば、先ほどの事例のように「気合いだ！」「精神力だ！」と、指導者が声高に「働きかける」状況において、気合いや精神力の重要性を学んでいる（「働きかけられる」）のは指導者自身です。子どもに、それらの重要性を理解させたいのであれば、子ども自身が気合いや精神力が必要される状況、理由、成果などを理解し、自ら「働きかける」場面をつくる必要があります。そして、辛いことがあっても、子ども自身が「働きかけたい」と思うように、スポーツや競技を「大好き」な状態にさせておく必要があるでしょう。このような「働きかける者が働きかけられる」というプロセスが、これまでの「部活動は道徳教育の場である」という主張に欠けていたのではないでしょうか。その問題を抱えたまま、「部活動は道徳教育の場である」という従来の主張や実践を繰り返すのか、教員の専門性をふまえて「生徒が自分たちで強くなっていくのが部活動である」と主張し、子どもの自治集団活動を基盤にした道徳教育を求めるのか、今、その分岐点に指導者の皆さんは置かれています。「運動部活動の教育学」の扉を開き、新たな一歩を踏み出してみませんか？

【注】

1）朝日新聞朝刊 2013 年 6 月 21 日。
2）部活動の指導要録上の評価については、拙稿「運動部活動の教育制度史」（友添秀則編著『運動部活動の理論と実践』大修館書店、2016 年、69-82 頁）を参照。
3）朝日新聞朝刊 2013 年 5 月 23 日（夕刊）。
4）朝日新聞朝刊 2017 年 10 月 20 日（夕刊）。
5）城丸章夫「教科外活動の教育的位置と展望」（『講座　日本の教育６　教育の過程と方法』新日本出版社、1976 年、337-382 頁）。

食育を考える ジュニア期の食事の在り方 2

自分のからだを、自分でつくる！
食事量の調整方法を習得しよう。

筑波大学体育系准教授　麻見 直美（管理栄養士）

運動栄養学の専門家、筑波大学体育系運動栄養学（管理栄養士）の麻見直美先生による、シリーズ「食育を考える：ジュニア期の食事の在り方」の第二回目となる。

『You are what you eat.』この１フレーズをしっかりと心に刻んでください。直訳すると、『(自分で書いてみましょう！）　　　　　　　　　　　　　　　　　　』です。そうですね。この文の意味、この文から理解して欲しいことは、『あなたは（あなたの からだもこころも)、あなたが食べたものから出来ている。だから、生きるために、命をつなぐために、消費、消耗されて失われていく身体の成分などを、同じもの（成分）から出来ている食べ物を食べることで補う必要がある。身体が必要としている成分を、食べることで補わないと、生きていくことが出来ない』ということです。図１に示す通り、含まれる量の割合は異なりますが、ヒトの身体を構成している成分と、我々の食事に含まれている成分は同じです。ここで言う“身体が必要としている成分”のことを“栄養素”といいます。食品は、様々な種類がありますが、食品ごとに含まれている栄養素の種類や量が異なります。そのため、身体が必要としている様々な栄養素を適切に摂取するために、様々な種類の食品を上手に組み合わせて食べることが大切になるのです。自分のからだをどうつくりたいか？　つくりたい自分のからだをイメージして、そのために何をどうやってどのくらい食べたらよいか、それぞれのヒトの創意工夫が必要です。

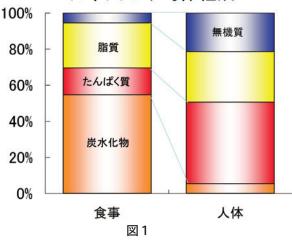



図１

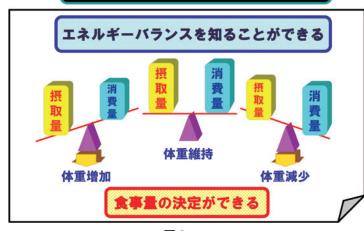
少し前の話になりますが、ハンドボール全日本チームの初の外国人監督だったオレ･オルソン氏（スウェーデン）は、他国の選手に比べて体格の小さな日本選手に対して、まず身体を大きくする取り組みを行いました。当初の全日本男子ハンドボールチームの平均体重は 82kg だったのですが、チームの平均体重を 88kg まで高めることを目標としました。そのためにチームは１日６食制で 6000kcal の食事をすることに努めました。「食べることも練習のうち！」と、ハンドボール選手としての目標の身体をつくるための１つの取り組みに食事を位置づけたのです。あなたは、ハンドボール選手として、どんな身体をつくりたいですか？　成長期の、勉強途中のあなたですから、どんな身体をつくりたいかは勝手に自分で決めずに、周りの大人（チームの監督？コーチ？や、学校の保健の先生？家庭科の先生？）と相談して、成長期のあなたのハンドボール選手としてのからだづくりの目標を立てましょう。ところで、身長が急に伸びたり、体重がグンと増えたりする時期は、ヒトによって違います。女子の方が、平均的にはその時期が男子より早いです。女子の場合、小学５年生くらい〜中学３年

生くらいのどこかであることが多いので、その時期を既に終えた人もいるかもしれませんね。身長が伸びている時は体重が増えるのもあたりまえに考えることができると思いますが、身長の伸びが少なくなると体重の増え方が気になる人もいるでしょう。けれど、身長の伸び方が少しづつになっても、まだあなたは成長期の段階ですから、体重が増えるのは当然です。そしてハンドボール選手としての適切な体格を意識するなら筋量を増やす必要もあるので、そうしたら筋肉は見た目の大きさが同じ脂肪より重たいので、体重が重くなるのも当然です。成長期にあることを意識して、どんな身体になりたいか考えてみてください。男子の場合は、中学１年生頃から大きな身長の伸びの時期が訪れる人が多いでしょう。高校生になってからの人もいます。自分は成長のどのステージにいるかを意識しながら、どんな身体になりたいか考えてみましょう。必ず成長のスパートの時期はやってきます。そのときに備えて、しっかり食べることができる準備をしておきましょう。勿論、からだづくりは“食事”だけで出来ることではありません。“練習／トレーニング”と“食事”と“休養”が上手く連動していなくてはなりません。だからこそ、あなたの“練習／トレーニング”を理解してくれる大人に、どんな身体を目標にしたらよいか相談し、あなたのハンドボール選手としての身体づくりの目標をたてましょう。「どんな選手になりたいか」をまず、書いてみましょう。そのための食事の工夫、あなたは何を実践しますか？

　ところで、あなたの最近の食事状況はどうですか？　「主食」「主菜」「副菜」「牛乳・乳製品」「果物」が毎回の食事に揃うことを意識して食べることが出来ていますか？　パーフェクト栄養型の食事を実践していますか？　そのために、周りの大人達に協力依頼をしましたか？　あなたは、まだ自分で食材を買って料理して食べる立場では無く（出来ることからやってみて欲しいけれど！ やれるヒトやりたいヒトは作ることにもチャレンジを初めてくださいね）、周りの大人達の協力があって、食事をしていると思いますから、もしも食べられていない料理区分があったら、『＊＊の食事のバランスを調べてみたら、◎◎が食べられてなくて、△△が不足している可能性があるとわかったから、今度から◎◎も食事に加えて欲しいんだ。お願いします！』みたいに、食事を準備してくれる大人にお願いしてみてください。『スポーツも頑張れる食事にするにするには、パーフェクト栄養型っていう、こんな食事が必要なんだって､､､』と理由も説明できるといいですね。是非チャレンジしてください。

　理想の選手になるために、どんな身体づくりをしたらよいか？　そのために食事の何から見直したらよいか？ということで、まずは直ぐに実践できることの１つとして、食事バランスを『パーフェクト栄養型』を目指していこう !! ということを第一回目でやりました。加えて、今回からは、「自分で自分の食事の量をコントロールする」に挑戦です。『パフォーマンス向上のための、アスリートのからだづくりのための』食事の条件は２つあります。“適切な量の食事”と“適切な質の食事”です。“適切な質の食事”の実践が『パーフェクト栄養型』の食事の実践です。では、“適切な量の食事”はどうやって管理するのでしょうか？

　方法は意外と簡単、定期的に体重を計ります。体重は、「食事からとるエネルギー量（摂取エネルギー

図２

量)」と「練習や試合も含めた、睡眠も含めた生活全般で（毎日を営むことで）消費するエネルギー量」のバランスによって決まります。図２にあるように、摂取量の方が消費量より多いと体重が増えます。逆に摂取量より消費量が多いと体重は減ります。摂取量と消費量が同じ場合は体重が維持されます。ただし、あなたは成長期にあるので、徐々に体重が増えるのは当然のことです。その増え方が適切かを、どんな身体をつくりたいかを確認しながらチェックしましょう。あなたは成長を遂げた（成長が止まった）大人より、体重を維持するためにも、多くのエネルギーの摂取が必要になります。それは、成長期のあなたの場合、消費量の内訳が生きるために最低限必要と考えられる基礎代謝（心臓が動いたり、体温が維持されたりなどの生きている限り必然的に消費されるエネルギー量）と運動などを含む身体活動に伴って消費される活動代謝量に加え、成長のために使われるエネルギー量も含むためです（図３)。あなたは成長期にあるので元来体重が減ることはありません。もしも体重が減ることがあるとすれば、練習やトレーニングが厳しくて、その結果食欲が低下したりして、充分に食事が摂れず、消費エネルギーが摂取エネルギー量より多くなっていることを意味しています。そんな時は食事量を増やして、足りないエネルギー量を補う必要があります。エネルギーバランスが「＋」でないと、体重は増えません。つまり、筋量も増えません。ちゃんと体重が増えているか、定期的に確認してください。もしも体重が減ったり、増え方が小さかったら、食事の量を（主食を中心に量や回数を）増やしましょう。さぁ、この１ヶ月の体重の変化はどうでしたか？　少しづつ増えていますか？　自分の体重の変化を確認しながら、食事の量を少しづつ増やしたり、減らしたりしてください。練習やトレーニングの量が増えたら「食事もトレーニング！の内」と考えて頑張って食べる量（摂取するエネルギー量）を増やす、試合が近づいて運動量が減ってきたな・・・と思ったら、食事の量（摂取するエネルギー量）を減らしてみる。さぁ、やってみましょう。練習日誌の隅っこに、食事の内容と大まかな量をメモしておきましょう。勿論、測った体重も一緒に！　そうすると、あなたの、食事量と体重の関係がわかってきますよ。やり方も身につきます。

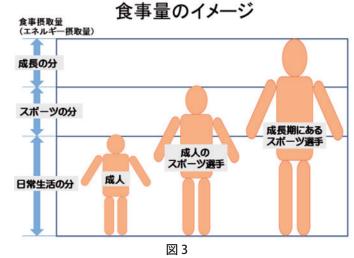



図３

　ところで、１回目の最後で「同じタイミングで体重を計ってください。」と書きました。覚えていますか？　同じタイミングがよい理由があります。体重はコップ１杯の水で増減するからです。直前の飲食や発汗の影響などを受けるので、あなたの生活の中で一番同じ条件が作れそうなタイミングで体重を計ってください。例えば、月曜日の朝起きてトイレに行った後とか、土曜日の寝る前とか、あなたの都合に合わせてよいタイミングを見つけてください。チームみんなで＊曜日の練習の後などと決めて、チームのみんなでやってもいいですね。食事の量が適切かどうかを判断するための体重測定は、１週間に１回くらいの間隔がよいでしょう。勿論、毎日体重を計る習慣を持つことは選手としてよいことです。けれども、食事量の判断に使う体重は１週間に１回くらい測定間隔で大丈夫です。毎日の体重の変動はコンディショニングに使いましょう。（後日、食事量の判定のための体重測定以外の体重活用法のお話をします）

　さぁ、第１回のパーフェクト栄養型の食事を意識しながら、体重を計りながら食事の量（主に主食がやりやすい）を増やしたり減らしたりして、自分が目指すからだづくりを行いしょう！

スコアールーム

第72回国民体育大会

開催期日：2017年10月5日（木）～9日（月）
会　　場：愛媛県西条市・西条市総合体育館ほか

【成年男子】

▼１回戦

東　京　23（９－10、14－７）17　岡　山
神奈川　31（13－12、18－17）29　和歌山
広　島　29（14－７、15－13）20　沖　縄

▼２回戦

愛　知　34（16－13、18－11）24　東　京
兵　庫　33（16－７、17－10）17　富　山
佐　賀　42（22－４、20－10）14　香　川
千　葉　29（12－10、17－14）24　岩　手
宮　城　36（16－５、20－10）15　神奈川
福　井　38（19－13、19－10）23　北海道
愛　媛　28（13－12、15－11）23　岐　阜
埼　玉　22（12－９、10－10）19　広　島

▼準々決勝

愛　知　37（17－11、20－13）24　兵　庫
佐　賀　29（14－９、15－10）19　千　葉
宮　城　27（12－11、15－10）21　福　井
埼　玉　38（18－12、20－11）23　愛　媛

▼準決勝

愛　知　38（24－７、14－12）19　佐　賀
埼　玉　30（10－10、20－14）24　宮　城

▼３位決定戦

宮　城　29（16－13、13－14）27　佐　賀

▼決勝

埼　玉　34（11－12、23－12）24　愛　知

【成年女子】

▼１回戦

石　川　38（22－２、16－２）４　兵　庫
三　重　30（13－11、17－８）19　神奈川
香　川　31（17－11、14－６）17　福　島
鹿児島　37（20－３、17－９）12　北海道
広　島　28（15－６、13－９）15　愛　媛
大　阪　27（11－12、16－９）21　茨　城
東　京　34（15－12、19－９）21　岩　手
熊　本　29（15－７、14－10）17　富　山

▼準々決勝

石　川　33（19－10、14－９）19　三　重
鹿児島　22（６－12、16－９）21　香　川
広　島　30（16－９、14－12）21　大　阪
熊　本　32（14－４、18－８）12　東　京

▼準決勝

石　川　31（20－７、11－12）19　鹿児島
熊　本　24（13－11、11－９）20　広　島

▼３位決定戦

広　島　30（13－13、17－14）27　鹿児島

▼決勝

石　川　33（14－８、19－８）16　熊　本

【少年男子】

▼１回戦

神奈川　36（17－８、19－７）15　北海道
山　口　34（18－８、16－７）15　岐　阜
香　川　32（14－９、18－７）16　兵　庫
沖　縄　27（13－７、14－11）18　福　島
大　分　27（13－９、14－９）18　京　都
千　葉　28（14－10、14－16）26　愛　媛
茨　城　20（12－５、８－12）17　愛　知
福　井　31（14－12、12－14）30　岩　手
（３－１、２－３）

▼準々決勝

神奈川　28（15－17、13－10）27　山　口
香　川　31（16－７、15－17）24　沖　縄
千　葉　21（11－11、10－８）19　大　分
福　井　27（15－13、12－13）26　茨　城

▼準決勝

神奈川　25（10－14、15－９）23　香　川
千　葉　38（10－11、19－18）37　福　井
（２－２、２－２、５　７Ｔ　４）

▼３位決定戦

福　井　29（15－10、14－９）19　香　川

▼決勝

神奈川　38（18－10、20－16）26　千　葉

【少年女子】

▼１回戦

沖　縄　25（14－12、11－11）23　京　都
大　阪　26（12－７、14－10）17　熊　本
千　葉　47（23－10、24－７）17　北海道

▼２回戦

沖　縄　31（16－12、15－11）23　東　京
岡　山　20（12－９、８－10）19　愛　媛
三　重　23（11－10、12－10）20　山　梨
岩　手　26（14－11、12－10）21　福　岡
大　阪　22（９－11、13－10）21　茨　城
富　山　17（９－11、８－５）16　香　川
愛　知　31（19－３、12－10）13　宮　城
山　口　36（18－８、18－５）13　千　葉

▼準々決勝

沖　縄　28（12－10、16－７）17　岡　山
岩　手　22（13－９、９－８）17　三　重
富　山　24（16－11、８－９）20　大　阪
愛　知　22（12－８、10－９）17　山　口

▼準決勝

沖　縄　29（12－12、12－12）27　岩　手
（３－２、２－１）
愛　知　20（11－12、９－７）19　富　山

▼３位決定戦

富　山　42（23－９、19－20）29　岩　手

▼決勝

愛　知　25（13－９、12－11）20　沖　縄